



[2018年5月24日発行 会報第928号]

今週のプログラム

(2018年5月24日 第928回例会)

「人生の終焉」 芝野 昭男様

担当：野崎 元子会員

次週のプログラム

(2018年5月31日 第929回例会)

「不眠症 insomnia(2)」

小山 富夫名誉会員

担当：水島 洋会員

[第927回例会 (2018年5月17日) の記録]

<会長の時間>

水本 徹会長

「天寿」とは、広辞苑でみると‘天から授けられた寿命’とあり、「天」とは(天地万物の主宰者)帝・創造主・神。(大自然の力)天命・天然。(自然に定まった運命的なもの)天性・先天的とあります。

つまり、天にしても、天寿にしても、私達のご都合以前ということで、例えば、私が男であり、いつの時代に、誰を親として、何番目の子供として、どのくらい生きるかということは、私達には決められないことで、仏教ではこういう状況を「仏の命を生きる」と言い、分からないことを、仏さまに丸ごと受け止めてもらおうと思うことです。とても勇気がいりますが、分からないことを分からないとしておく勇気はとても大切です。そうでないと、自分の運命が神様や霊の仕業だと考えたくなくなってしまい、自主性がなくなってしまいます。言い換えれば考える力(知恵)が働かなくなります。分からないことを分からないとしておくのも知恵なんです。ある夫婦に待望の子供が生まれたのですが、生後25日で亡くされ、せつなく生まれてきたのに、どうして、どうして・・・お医者さんから原因の説明を受けても、気休めにすらならなかったでしょう。また、ここで「どうしてお子さんが亡くなったかについては、分からないとしておいたらどうですか」と言っても、とても納得できるものではないでしょう。なので、先祖は「不条理な死」を、人間の意思を超えた天が定めた「天寿」という考え方で納得しようとしてきました。最近で実際、早世した子や、障害児の親になられた方々が納得した話しが、次のとおりです。

「この子の親には誰になってもらおうか」と神様たちは考えたに違いない。

“この人ならこの子の命が早く世を去らなければならなくても、障害を持っていても、しっかりと受け止めてくれる筈だ。”

＜お客様＞ なし

＜出席報告＞ 岸上和典 出席担当

会員数（内出席免除会員1名） 20名

本日の出席者数

（内免除会員1名、名誉会員0名） 18名

本日の出席率 90%

前々回（5月3日）は祝日休会

＜ロータリーソング＞ 全会員

♪おお牧場はみどり♪

＜本日のピアノ曲＞ 近藤美里さん

1. Sing

2. Londonderry Air

3. I'll Never Fall In Love Again

4. My Foolish Heart

|

＜幹事報告＞ 山本友亮 幹事

- 1 大阪手をつなぐ育成会より、通信誌が届きました。
- 2 本会例会終了後、おしどりの間にて20周年委員会を開催致します。
- 3 今週延期となりました次年度アセンブリは6/21（木）の今年度アセンブリと合同開催にて行うことにします。|

＜SAA報告＞ 岸上和典 副SAA

*スマイルボックス

西本（明）会員 暑くなりました。

西本（詩）会員 五月晴れのように明るいニュースが増えますように。

柳原会員 5月が一番うれしいです。目が廻る。

山田会員 先週例会の時、渡邊会員に「はしか？」ってからかったバチが当たりました。
ごめんなさい。

山下会員 コメントなし

*ラオス基金

村田会員 コメントなし。

渡邊会員 コメントなし。

山下会員 コメントなし

*ロータリー財団

水本会員 20周年まであと23日！

相原会員 コメントなし。

西本（明）会員 コメントなし。

高尾会員 コメントなし。

山下会員 コメントなし。
|

*米山記念奨学会

相原会員 コメントなし。

柳原会員 3月決算で忙しいです。

松田会員 4/22から禁煙中です。
6/9健診結果が出るまで飲むぞ。

高尾会員 コメントなし。

山下会員 コメントなし。

木下（健）会員 昨日、明日と東京です。忙しい日程です。

*メイプル基金

水島会員 西本会員卓話よろしく。

山本（友）会員 コメントなし。

山田会員 相原先生ありがとうございました。

黒川会員 遅刻してごめんなさい。

山下会員 コメントなし。

柳原会員 税務調査があります。楽しいな～。

高尾会員 西本会員、卓話よろしく！

村田会員 西本先生、旅行のお話楽しみです。

西本（詩）会員 明文会員、卓話頑張って下さい。

西本（明）会員 今日は卓話の当番です。

渡邊会員 コメントなし。

松田会員 いよいよ20周年、皆様ご苦労さまです。

木下（健）会員 西本先生卓話楽しみです。

]

<卓話>

伯耆出雲を旅して

西本 明文

4月28日、大阪伊丹空港発、総勢20数名、出雲空港へと出発した。幸い快晴で出雲空港着後貸切バスで宍道湖湖畔の玉造温泉に着いた。この辺りは、私の出身校、鳥取大学医学部がある米子市に近くなじみ深い土地である。

私は医学部に在学中から卒業後研修終了まで約12年間この近郊に在住していた。従って懐かしくて、久しぶりに里帰りしたような気持ちでした。夕刻玉造温泉に着いてびっくりです。大きな全く近代的なホテル旅館でした。私がかつて住んでいた頃は谷川のせせらぎが聞える溪谷の温泉地で木造の旅館が立ち並んでいた。大きな露天風呂で、中央に男女の簡単な板壁の区別はあったが、原則は混浴の風情であり、静かな温泉であったと記憶している。

大きな旅館を後に、翌日29日朝は出雲大社へとバスで出発。宍道湖の湖畔の国道9号線を西に向かっている途中に「来侍」というJR山陰本線の無人駅が見えた。

ここは米子市にある医学部付属病院の教授の命で、1年間この駅より2km奥の山間の無医村の診療所に住み込みの医師として派遣されていた所である。この山間の小さな村の人口は50~100人ほどだったと思われる。当時はまだ自動車は珍しかったが、山間であるため往診用としてスバル360が配置された。そのお陰で往診のみならず、往診の間に、松江市や時には米子市に国道9号線のドライブを楽しんでいた。

さて、出雲大社の参拝の件は齋藤宮司さんに任せて、その後の観光に付いて、お話をさせていただきます。大社参拝後国道9号線宍道湖湖畔を西に向かっていると、湖の対面に一畑電鉄の電車が松江から出雲まで走っているのがかすかに見えます。つまり、湖畔の北側の通路もある宍道湖は隣接の鳥取県の中海と接する淡水湖で、この2箇所は大体同じ位の大きさです。松江市は宍道湖東面の市で、松江大橋から宍道湖を見る風景は、特に夕方が絶景の一つに数えられている美しい所です。

バスは宍道湖畔、松江と通過して、一路島根県の安来へと向かい、安来の飯梨川沿いに山間に向かって足立美術館へ。美術館では枯れ山水庭（日本庭園）、横山大観の作品を鑑賞させていただきました。が、その話はさておき、この美術館より2Km程の山間の左側の高台に2~3本の高い木が立っているのが見えてくる。ここが西暦1563年ごろに毛利の大軍が3回もせめてきた古城跡である。ここに有った月山富田城（尼子一族の居城）を攻略せんと山陽地方から押し寄せ落城となった歴史の跡である。

私はこの古城の跡に4回程来ているが「天上影は変らねど、栄枯は移る世の姿」と詠われたのを思い出します。この歌は卓話で詳しくお話した事があります。

足立美術館を後に帰路、中海が見えて来ました。中海は地図で見ないと判りにくいのですが、中心部に牡丹園で有名な大根島が有り、その先端が弓ヶ浜半島と続き鳥取県の境港です。ここが水木しげるのゲゲゲの鬼太郎で有名な境港です。

帰路、出雲勾玉の里に立ち寄りおみやげもできました。

無事伊丹空港で解散したが、帰宅してから出雲地方にかなり大きな地震があった事を報道で知った。我々は直接の被害も免れ、幸運であり、楽しい旅であったと実感しております。

これら全て宮司、渡邊会員のお陰と感謝し、心からお礼申し上げます。

2018.5.10 記

(文責 西本 明文)